

第110回 埼玉県内企業経営動向調査－2020年1～3月期－

調査対象：県内企業 547社 調査方法：アンケート方式（2月上旬 郵送回収）
 回答企業：201社（回答率 36.7%） 業種別内訳：製造業 108社 非製造業 93社
 調査分析方法 BSI方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回) 2019年11月8日	109.03	23,391.87
(今回) 2020年2月12日	109.85	23,861.21

概況

埼玉県内企業の業況感は、さらに悪化している。今回調査（2020年1～3月期）の業況判断BSIは、-22と前回調査（10～12月期）比マイナス幅が7ポイント拡大している。

業種別にみると、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大している（製造業：前回-22→今回-31、非製造業：前回-5→今回-10）。

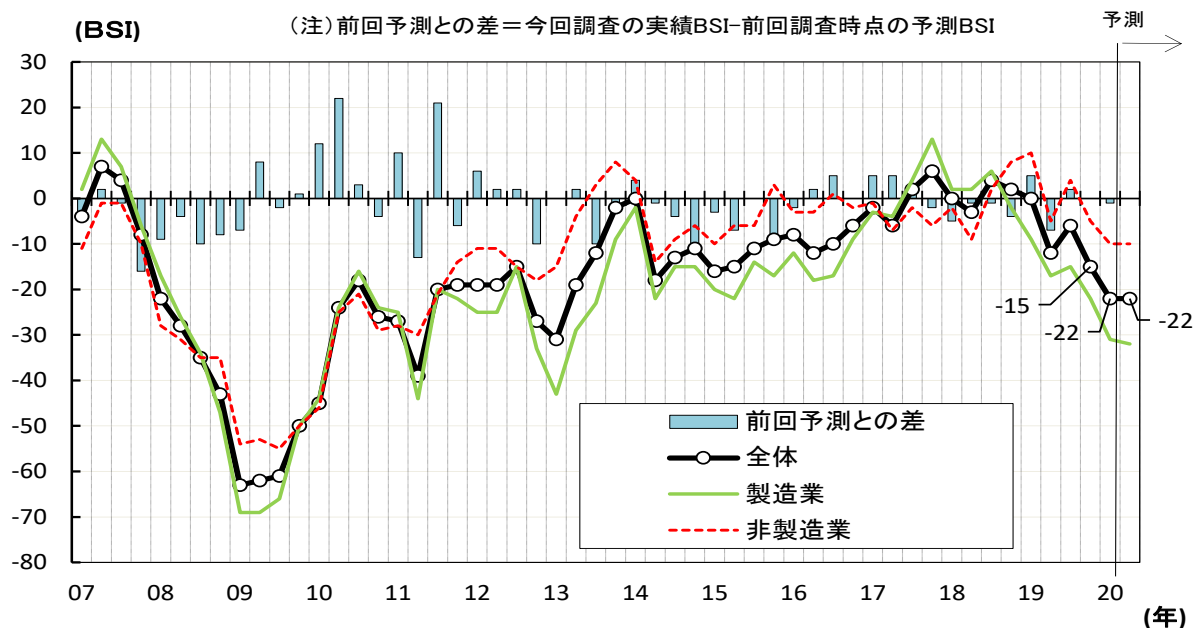
製造業では、紙加工品等、鉄鋼・非鉄金属、一般機械器具、電気・情報通信機械器具、輸送機械など素材型および加工組立型の幅広い業種において、長引く米中貿易摩擦による海外需要の低迷持続や消費税率引き上げ後の消費の落ち込みに加えて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う受注・生産面への下押しから悪化している。非製造業でも、住宅建設、卸売がマイナスに転じているほか、一般建設、小売、不動産で悪化している。

先行き（2020年4～6月期）の業況判断BSIは、-22と悪化が続く見通し。

業種別にみると、製造業では、鉄鋼・非鉄金属、金属製品、一般機械、電子部品・デバイス、輸送機械、精密機械など多くの業種で悪化が続くとの見方にある（今回-31→先行き-32）。

非製造業では、一般建設で持ち直しが見込まれる一方、卸売、小売、運輸・倉庫などで悪化の見通し（今回-10→先行き-10）。

図表1. 業況BSIの推移



1. 業況判断 BSI (「良い」 - 「悪い」) ~ マイナス幅が拡大 ~

埼玉県内企業の業況感は、さらに悪化している。今回調査(2020年1~3月期)の業況判断 BSI は、-22 と前回調査(10~12月期)比マイナス幅が7ポイント拡大している。

業種別にみると、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大している(製造業: 前回-22→今回-31、非製造業: 前回-5→今回-10)。

製造業では、紙加工品等、鉄鋼・非鉄金属、一般機械器具、電気・情報通信機械器具、輸送機械など素材型および加工組立型の幅広い業種において、長引く米中貿易摩擦による海外需要の低迷持続や消費税率引き上げ後の消費の落ち込みに加えて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う受注・生産面への下押しから悪化している。非製造業でも、住宅建設、卸売がマイナスに転じているほか、一般建設、小売、不動産で悪化している。

図表2. 規模別・業種別業況判断 BSI

	2018年		2019年				2020年		2020年 4~6月 (先行き)
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	前回予想	
全体	4	2	0	-12	-6	-15	-22	-21	-22
規模の小さい企業	6	-1	-3	-13	-14	-17	-25	-26	-24
規模の大きい企業	3	6	2	-10	2	-12	-18	-15	-20
製造業	6	-2	-9	-17	-15	-22	-31	-25	-32
規模の小さい企業	8	-1	-8	-16	-25	-25	-36	-30	-31
規模の大きい企業	3	-2	-9	-18	-2	-18	-26	-20	-34
素材型	0	0	-13	-16	-6	-13	-33	-23	-35
紙加工品等	0	-18	-56	8	9	18	-36	-27	-9
化学・プラスチック・ゴム製品	33	0	-13	-13	18	27	0	27	13
鉄鋼・非鉄金属	-17	-10	-11	-25	-11	-33	-44	-11	-56
金属製品	20	30	30	-43	-20	-50	-50	-75	-70
その他素材型	-30	0	-20	-20	-27	-38	-27	-38	-45
加工組立型	19	4	-2	-27	-32	-36	-48	-33	-43
一般機械器具	42	58	31	-9	-30	-9	-40	-27	-40
電気・情報通信機械器具	9	-33	-25	-70	-40	-10	-30	0	-20
電子部品・デバイス	45	-9	-22	-36	-88	-90	-70	-70	-50
輸送機械	-9	0	-20	-20	-20	-44	-67	-67	-78
精密機械	0	0	29	14	33	-20	-20	20	-20
生活関連型	-22	-20	-7	7	-14	0	25	-7	8
飲・食料品	0	-11	13	13	0	13	50	13	33
印刷・同関連業	-50	-33	-29	0	-29	-17	0	-33	-17
その他製造業	33	-33	-67	0	40	-67	0	-33	0
非製造業	2	8	10	-5	4	-5	-10	-14	-10
規模の小さい企業	2	0	4	-10	2	-5	-11	-19	-15
規模の大きい企業	2	15	16	0	6	-5	-9	-10	-4
一般建設	21	6	11	13	17	10	5	-14	10
住宅建設	0	-13	14	-14	-17	20	-40	0	0
卸売	0	15	0	-20	0	22	-7	0	-21
小売	-5	-6	10	-21	-5	-5	-26	-21	-26
運輸・倉庫	0	33	25	0	13	-17	0	0	-30
不動産	0	43	0	0	0	-29	-33	-29	-17
その他非製造業	-6	-6	13	13	10	-29	0	-18	6

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業でマイナスが拡大～

製造業では、加工組立型でマイナス幅が拡大しているほか、素材型、生活関連型でマイナスに転じている。一方、非製造業では、小売がプラスに転じている一方、住宅建設、不動産でマイナスとなっている。先行きは、製造業でマイナス幅が縮小する見通しである。

図表 3 売上（生産）高 BSI

	(前々回調査) 19年7～9月期	(前回調査) 10～12期	(今回調査) 20年1～3月期	(先行き) 4～6月期
全体	-5	-1	-16	-9
製造業	-18	-1	-28	-10
非製造業	11	-1	-1	-6
規模の小さい企業	-9	-2	-22	-5
規模の大きい企業	-1	0	-8	-13

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業でマイナス幅が拡大～

製造業では、加工組立型でマイナスが続いているほか、素材型、生活関連型でマイナスに転じている。一方、非製造業では、一般建設、小売、運輸・倉庫でプラスに転化している。先行きは、マイナス幅が縮小する見通しである。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 19年7～9月期	(前回調査) 10～12期	(今回調査) 20年1～3月期	(先行き) 4～6月期
全体	-9	-8	-15	-9
製造業	-23	-10	-26	-10
非製造業	7	-5	-1	-8
規模の小さい企業	-15	-9	-20	-7
規模の大きい企業	-3	-6	-8	-11

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業でマイナス幅が拡大～

製造業では、加工組立型でマイナスに転じているほか、素材型では、鉄鋼・非鉄金属、金属製品の減少からマイナス幅が拡大している。先行きは、横ばいの見通し。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 19年7～9月期	(前回調査) 10～12期	(今回調査) 20年1～3月期	(先行き) 4～6月期
全体	1	-3	-4	-4
製造業	1	-3	-8	-9
非製造業	2	-3	4	4
規模の小さい企業	-1	-11	1	3
規模の大きい企業	5	5	-9	-12

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～不足感が弱まっている～

製造業では、素材型の化学・プラスチック・ゴム製品、金属製品で不足感が続いている一方、加工組立型では、一般機械器具、電気・情報通信機械器具で過剰感が強まっている。非製造業では、一般建設、卸売で不足感が続いている。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 19年7～9月期	(前回調査) 10～12期	(今回調査) 20年1～3月期	(先行き) 4～6月期
全体	-5	1	0	-1
製造業	-3	2	4	-1
非製造業	-9	-1	-5	0
規模の小さい企業	-4	4	3	2
規模の大きい企業	-7	-3	-3	-3

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～人手不足感が製造業、非製造業ともにやや緩和～

製造業では、一般機械器具、電子部品・デバイス、精密機械など加工組立型で、非製造業では、運輸・倉庫、卸売、不動産などで不足感が緩和している。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 19年7～9月期	(前回調査) 10～12期	(今回調査) 20年1～3月期	(先行き) 4～6月期
全体	-36	-39	-29	-28
製造業	-21	-24	-10	-11
非製造業	-55	-58	-51	-47
規模の小さい企業	-34	-36	-25	-24
規模の大きい企業	-38	-42	-33	-33

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～総じて緩和～

全体として緩和されている状況が続いている。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 19年7～9月期	(前回調査) 10～12期	(今回調査) 20年1～3月期	(先行き) 4～6月期
全体	9	5	7	7
製造業	5	7	1	3
非製造業	13	2	14	11
規模の小さい企業	4	-5	0	1
規模の大きい企業	14	17	15	13

以上